

令和 7 年度（令和 6 年度実績）

**鳥羽市教育委員会の事務に関する
点検・評価報告書**

**令和 7 年 10 月
鳥羽市教育委員会**

目 次

第1章 基本事項

I	鳥羽市が目指す教育	1
II	教育委員会の事務に関する点検・評価	1
1.	趣旨	1
2.	点検・評価の対象	2
3.	点検・評価の方法	2

第2章 点検・評価事項

I	教育委員会の運営状況	3
1.	教育委員会の構成	3
2.	教育委員会の会議	4
3.	活動の周知及び情報発信	7
4.	教育委員の活動及び自己研鑽	11
5.	教育委員会だより	11
6.	情報公開について	12
7.	総合教育会議について	12
8.	教育委員会の運営に対する外部評価	13
II	「第2次鳥羽市教育ビジョン」の取組	14
【施策1】	しっかり学ぶ子どもを育てる	15
【施策2】	子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育の推進	22
【施策3】	多様な個性を認め合う豊かな心と健やかな体を育てる	27
【施策4】	地域・家庭とともにある園・学校づくり	37
【施策5】	生涯学習やスポーツの推進	46
【その他の施策】	寝屋子の島留学事業	59
【報告書全体を通しての意見】		60

■第1章 基本事項

I 鳥羽市が目指す教育

多様な社会を生き抜く、

知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成

本市は「誰もがキラめく鳥羽　海の恵みがつなぐ鳥羽」を将来の都市像に掲げています。次代を担う本市の子どもたちは、その実現のための大きな力になることは間違ひありません。子どもたちが輝く未来のために自分を磨き、人間性と創造力を豊かにし、社会参画意識と行動力を高めることができる環境を整えていくのは、大人の責務です。

本市では、「多様な社会を生き抜く、知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成」を目標とし、学校・園・家庭・地域のさらなる連携のもと、未知の課題へ直面する子どもたちに育むべき力を明確にし、取組を進めます。

そのために、学校教育を充実させ、地域全体で取り組む教育を推進し、生涯学習・スポーツの振興を図っていきます。

II 教育委員会の事務に関する点検・評価

1. 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用した点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

教育委員会では、法の趣旨に則り、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図るとともに、教育委員会の責任体制の明確化を図り、市民の方々への説明責任を果たすために、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、報告書として作成しました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2. 点検・評価の対象

本報告書では、令和6年度鳥羽市教育委員会の運営状況および「第2次鳥羽市教育ビジョン（令和3年度～令和7年度）」に基づく、令和6年度の主な取組を点検・評価の対象としました。



3. 点検・評価の方法

教育委員会の運営状況および「第2次鳥羽市教育ビジョン」に基づいて行った令和6年度の事務（教育委員会が管理・執行する事務）に関し、成果指標などに基づいて自己評価を行った後、教育に関する学識経験者から意見聴取を行いました。

点検・評価報告書については、議会への報告と市ホームページへ掲載し、公表します。

【学識経験者（外部委員）名簿】

氏名（敬称略）	役職等
市田 敏之	皇學館大学准教授
福井 光生	元小学校長

■第2章 点検・評価事項

I 教育委員会の運営状況

1. 教育委員会の構成

令和6年度中の教育委員の交代は、浅尾美沙氏が任期満了により退任され、杉本友季氏が令和6年10月1日付けで就任しました。

また、令和6年12月31日をもって、教育長の小竹篤氏が任期途中で退任したことにより、教育長職が不在となりました。不在期間中は、中村和久氏が教育長職務代理者として、その職務を代行しました。

【教育委員会名簿】

令和5年10月1日～

氏名	任期	備考
教育長 小竹 篤	令和4年10月1日～令和7年9月30日	
委員 中島 幸代	令和3年10月1日～令和7年9月30日	
委員 浅尾 美沙	令和2年10月1日～令和6年9月30日	
委員 奥村 楠治	令和5年10月1日～令和9年9月30日	
委員 中村 和久	令和4年12月24日～令和8年12月23日	教育長職務代理者

令和6年10月1日～

氏名	任期	備考
教育長 小竹 篤	令和4年10月1日～令和7年9月30日	令和6年12月31日退任
委員 中島 幸代	令和3年10月1日～令和7年9月30日	
委員 杉本 友季	令和6年10月1日～令和10年9月30日	
委員 奥村 楠治	令和5年10月1日～令和9年9月30日	
委員 中村 和久	令和4年12月24日～令和8年12月23日	教育長職務代理者

令和7年1月1日～

氏名	任期	備考
教育長 -	-	
委員 中島 幸代	令和3年10月1日～令和7年9月30日	
委員 杉本 友季	令和6年10月1日～令和10年9月30日	
委員 奥村 楠治	令和5年10月1日～令和9年9月30日	
委員 中村 和久	令和4年12月24日～令和8年12月23日	教育長職務代理者

【教育委員会制度の概要】

- 教育委員会は、地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関として、全ての都道府県及び市町村等に設置。首長から独立した行政委員会としての位置づけ。
- 教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体的な事務を執行。

2. 教育委員会の会議

鳥羽市教育委員会会議規則の規定に基づき定例会を開催しています。

令和6年度は13回（定例会12回、臨時会1回）を開催し、合計56案を審議、可決・承認しました。会議日程は、市の告示板に掲出しています。

【開催状況】（開催回数：定例会12回・臨時会1回、審議等議案数：56件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
定例会 (議案)	1 (12)	1 (8)	1 (5)	1 (2)	1 (2)	1 (1)	1 (0)	1 (5)	1 (3)	1 (4)	1 (5)	1 (8)	12回 (55件)
臨時会 (議案)								1 (1)					1回 (1件)

【主な内容】

期日	議案等	主な協議件名
4月定例会 (R6.4.23)	議案 (12件)	鳥羽小学校学校運営協議会委員の委嘱について
		答志小中学校学校運営協議会委員の委嘱について
		神島小中学校学校運営協議会委員の委嘱について
		菅島小学校学校運営協議会委員の委嘱について
		加茂小中学校学校運営協議会委員の委嘱について
		安楽島小学校学校運営協議会委員の委嘱について
		弘道小学校学校運営協議会委員の委嘱について
		鳥羽市学校評議員の委嘱について
		鳥羽市教育支援委員会委員の委嘱について
		鳥羽志摩地区教科用図書採択協議会規約の制定について
		鳥羽志摩地区教科用図書採択協議会委員の任命について
		鳥羽市学校体育施設開放運営委員会委員及び管理指導委員の委嘱について
5月定例会 (R6.5.28)	議案 (8件)	神島小中学校学校運営協議会委員の委嘱について
		安楽島小学校学校運営協議会委員の解委嘱について
		鳥羽市青少年育成指導員の委嘱について
		鳥羽市青少年サポートセンター所長及び主任の任命について
		鳥羽市立中央公民館分館主事の解任命について
		鳥羽市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の解委嘱について
		鳥羽市スポーツ推進審議会委員の解委嘱について
		鳥羽市いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について

6月定例会 (R6. 6. 25)	議案 (5件)	鳥羽市立新中学校設立準備会委員の委嘱について
		安楽島小学校学校運営協議会委員の解委嘱について
		鳥羽市学校内科医の解委嘱について（菅島小学校）
		鳥羽市学校内科医の解委嘱について（弘道小学校）
		東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会補助金交付要綱の全部改正について
7月定例会 (R6. 7. 30)	議案 (2件)	答志小中学校学校運営協議会委員の解委嘱について 令和7年度使用中学校用教科用図書について
8月定例会 (R6. 9. 2)	議案 (2件)	鳥羽市運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正についての意見の申出について
		鳥羽市運動施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
9月定例会 (R6. 9. 26)	議案 (1件)	鳥羽市部活動ガイドラインの改定について
第1回臨時会 (R6. 11. 19)	議案 (1件)	教育長の辞職の同意について
11月定例会 (R6. 11. 29)	議案 (5件)	鳥羽市教育委員会における鳥羽市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例施行規則の制定について
		令和7年度教職員人事異動基本方針（案）について
		学校の管理に関する規則の一部改正について
		指定管理者の指定についての意見の申出について（鳥羽市民体育館他6施設）
		鳥羽市立海の博物館運営協議会委員の解委嘱について
12月定例会 (R6. 12. 19)	議案 (3件)	教育長の職務を代理する委員に係る事務の委任等に関する規程の制定について
		鳥羽市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
		令和7年度土曜日の授業の実施（案）について
1月定例会 (R7. 1. 28)	議案 (4件)	令和6年度（令和5年度実績）鳥羽市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について
		就学等に関する規則の一部改正について
		指定管理者の指定についての意見の申出について（答志コミュニティアリーナ）
		指定管理者の指定についての意見の申出について（寝屋川交流の館）
2月定例会 (R7. 2. 20)	議案 (5件)	委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正についての意見の申出について
		令和7年度教職員人事異動（案）について
		就学等に関する規則の一部改正について
		学校の管理に関する規則の一部改正について
		鳥羽市教育関係機関に対する補助金交付要綱の一部改正について

3月定例会 (R7.3.27)	議案 (8件)	鳥羽市学校内科医の委嘱について
		鳥羽市学校眼科医の委嘱について
		鳥羽市学校耳鼻科医の委嘱について
		鳥羽市学校歯科医の委嘱について
		鳥羽市学校薬剤師の委嘱について
		鳥羽市社会教育指導員の任命について
		地域学校協働活動推進員の委嘱について
		鳥羽市スポーツ推進委員の委嘱について

【議案の種別】

【議決の状況】 (付議事項数 : 53 件)	件 数
① 教育に関する事務の管理及び執行の基本方針	3 件
② 教育委員会規則、規程等の制定・改廃	12 件
③ 学校及びその他教育機関の設置及び廃止	0 件
④ 協議会・審議会委員等の任免・委嘱	33 件
⑤ 教育委員会事務の点検・評価	1 件
⑥ 議会提出議案に関する意見	5 件
⑦ 教科用図書の採択	1 件
⑧ 通学区域の設定・変更	0 件
⑨ 文化財の市指定	0 件
⑩ その他	1 件

※ 上記議案のほか、教育ビジョンに基づく教育施策や、児童生徒の状況、学校の運営や行事、学校統合計画に関わる協議などを行いました。

※ 各会議の会議録については、市ホームページ上で公開しています。

3. 活動の周知及び情報発信

ホームページや広報とば、とばメール等、様々な手段や方法により情報発信を行いました。

(1) 鳥羽市ホームページのトップページにおいて、告知を行いました。

掲載月	所管課	内 容
R6. 4	学校教育課	就学援助費制度について
	生涯学習課	鳥羽市文化財動画の更新（鳥羽の伝統行事）
		鳥羽市20歳の会
R6. 5	生涯学習課	パリ2024オリンピック・パラリンピック（山田優選手）
R6. 6	生涯学習課	夏休み地球塾特別講座のお知らせ
		「志摩の考古学研究の萌芽 故村上喜雄氏の研究」展
R6. 7	総務課	新中学校の校名を募集します
R6. 8	生涯学習課	新たな地域クラブ活動の準備を進める、関係団体及び学校部活動顧問等合同ミーティング
		鳥羽市運動施設における指定管理者の公募について
		オクトーバー・ラン＆ウォーク2024の参加者募集
R6. 10	総務課	令和7年度鳥羽市立かもめ幼稚園の入園募集について
	学校教育課	令和6年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について
	生涯学習課	山田優選手凱旋報告会
R6. 11	学校教育課	三重県鳥羽市答志島「寝屋子の島留学事業」について
R6. 12	生涯学習課	新春凧上げ大会
		山田優杯 鳥羽・エペフェンシング大会
R7. 1	総務課	令和6年度分鳥羽市高等学校通学費等補助事業について

R7.2	総務課	新中学校の校章デザイン案を募集します！
	学校教育課	公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の公表について
R7.3	学校教育課	令和7年度鳥羽市立小中学校土曜日の授業実施予定
	生涯学習課	第28回海の香りのする詩

(2) 「広報とば」による情報発信を行いました。

掲載月	担当課	内 容 ・ 件 数
4月1日号	学校教育課	・お知らせ1件（土曜日の授業）
	生涯学習課	・なるほど！うみはく（コラム） ・募集（自動販売機設置業者：福祉事業）
5月1日号	総務課	・お知らせ1件（高校生通学費等補助金交付制度について）
	生涯学習課	・ギャラリー企画展「鳥羽の海女小屋」・イベント情報 ・20歳の会実行委員の募集 ・募集（地域スポーツ指導者育成事業補助金）
6月1日号	学校教育課	・お知らせ1件（教科書展示会）
	生涯学習課	・鳥羽のきらり歴史遺産語り ・夏休み地球塾特別講座の募集 ・山田優選手パリ五輪代表に内定！
7月1日号	生涯学習課	・写真展「大吉半島の生きものたち」（海の博物館） ・山田優選手パリ五輪フェンシングに出場します！
8月1日号	総務課	・新中学校の校名を募集します
	生涯学習課	・鳥羽のきらり歴史遺産語り ・特別展 たとえるなら、海の〇〇（海の博物館） ・鳥羽市民文化祭展示作品と音楽芸能出演者募集
9月1日号	学校教育課	・お知らせ1件（教科書採択の資料閲覧）
	生涯学習課	・山田優選手祝銀メダル獲得！ ・オクトーバー・ラン＆ウォーク2024参加者募集 ・募集（鳥羽市運動施設における指定管理者）
10月1日号	総務課	・令和7年度幼稚園児・預かり保育園児を募集します ・お知らせ1件（教育委員を選任）

	学校教育課	・イルカ島写生会を開催します！
	生涯学習課	・写真展「海、なりわいetc.」(海の博物館) ・第49回鳥羽市民文化祭を開催します ・第66回市民体育大会参加者募集
11月1日号	学校教育課	・魚を食べようVol. 21 日本一魚をおいしく食べるまち鳥羽 母の味を再現～答志の鰯でクッキング～ ・お知らせ2件 (新入生等応援金、鳥羽志摩子ども作品展)
	生涯学習課	・鳥羽市民文化祭を開催します(音楽芸能プログラム) ・模型展「浜の集落」展開催(海の博物館) ・20歳の会について(参加希望者募集) ・みんなで凧作り教室
12月1日号	学校教育課	・募集2件(御木本奨学生、西村百合子奨学生)
	生涯学習課	・鳥羽のきらり歴史遺産語り ・チャンバラフェンシング体験 ・特別展「答志島」開催のお知らせ(海の博物館) ・新春凧上げ大会
1月1日号	総務課	・新中学校の校名が決まりました
	学校教育課	・鳥羽市新入生等応援金の支給について ・お知らせ1件(書き初め作品展)
	生涯学習課	・第28回海の香りのする詩受賞作品紹介 ・海の博物館お正月イベント・食体験
2月1日号	総務課	・お知らせ1件(令和6年度分高校生通学費等補助の申請)
	生涯学習課	・第18回美し国三重市町対抗駄伝 ・「海女とデザイン」展(海の博物館)
3月1日号	総務課	・新中学校の校章デザイン案を募集します
	学校教育課	・魚を食べよう Vol. 23 日本一魚をおいしく食べるまち鳥羽 鳥羽が好き♪ふるさと給食
	生涯学習課	・令和6年度スポーツ優秀選手・優秀団体・体育功労者
連載	図書館	Library news 図書館だより(毎号掲載・12件)

(3) 「とばメール」 やフェイスブックなどを活用し、各種事業のお知らせ、啓発活動を行いました。

配信日	担当課	内 容
R6. 6. 1	生涯学習課	地球塾夏休み特別講座のお知らせ
R6. 6. 24	生涯学習課	「志摩の考古学研究の萌芽 故村上喜雄氏の研究」展
R6. 8. 16	生涯学習課	パリ五輪銀メダリスト山田優選手の凱旋報告会開催

4. 教育委員の活動及び自己研鑽

研修会への参加などで教育行政への理解を深めるとともに、積極的に各学校の現場へ出向き、子どもたちとのふれあいや学校の現状把握を行うなど、委員活動の充実に努めました。学校訪問時の様子や感想などについては、定例会の中で情報共有を行うなど、教育現場の実情を踏まえた教育施策の検討や意思決定の反映に努めました。

また、関係機関と連携した活動や定期的な勉強会の開催など、委員間の意見交換や情報共有を通じて、自己研鑽に努めました。

開催日	内 容	場 所
R6. 4. 23	学校統合に関わる答志地区懇談会（小学校PTA）	答志小学校
R6. 11. 1	研究発表会	加茂小学校
R6. 11. 19	市長・教育長・教育委員とPTAの語る会	鳥羽商工会議所 かもめホール
R6. 11. 27	鳥羽市いじめ問題対策連絡協議会	市民体育館
R7. 2. 20	第1回鳥羽市総合教育会議	鳥羽市役所
年間	・学校訪問等 15件 ・勉強会 12件	市内各学校等 教育委員会会議室他

5. 教育委員会だより

教育委員会の機関紙である「教育委員会だより」を年に2回発行し、教育委員会に関する活動の情報発信を行いました。

【発行状況】発行回数：2回（10月・4月）

発 行 月	内 容
9月 (第28号)	・パラオ海外研修 ・新中学校設立準備会 ・部活動地域移行にかかる部活動検討委員会 ・とこよの郷 ブルーベリー狩りとピザづくり ・答志小中学校防災学習 ・鳥羽高等学校とかもめ幼稚園の交流について
4月 (第29号)	・ワカメ養殖から地域を学ぶ（答志中学校） ・教育委員の活動紹介 ・鳥羽東中学校大規模改修工事完了 ・藻場再生に挑む!!（弘道小学校） ・海女文化のユネスコ無形文化遺産登録を目指した取り組み

6. 情報公開について

教育委員会が管理・執行する事務に関する情報公開請求の実績は、下記のとおりでした。

【行政情報の公開状況】

件数	全部公開	部分公開	不受理
5	5	0	—

7. 総合教育会議について

総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、市長と教育委員会が対等な立場で協議・調整を行う場として、平成27年度から開催されています。

令和6年度は2月20日に開催され、市長と教育委員が「学校におけるいじめ・不登校の実態」や「支援の必要な児童・生徒の対応」、「加速する少子化への対応」、「第3次鳥羽市教育ビジョンの策定」など、教育を取り巻く喫緊の課題について、意見交換を行いました。

【自己評価と今後の取組】

- ホームページや広報とば、教育委員会だよりなど、さまざまな広報媒体を活用し、教育委員会の取組や学校における活動の状況、教育施策の進捗などについて、広く情報発信を行い、教育行政に対する理解と関心を深めていただくよう取り組みました。今後も、積極的な情報発信に努め、開かれた教育行政の推進を図っていきます。
- 総合教育会議における市長と教育委員会との意見交換により、子育てや教育に関する重要な課題について情報共有を図ることができました。このような協議の場を通じて、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、目指すべき教育の方向性を共有することで、より一層民意を反映した教育行政の推進に努めています。

8. 教育委員会の運営に対する外部評価

教育委員会の運営状況等に関する外部委員からの意見等は、下記のとおりでした。

【委員からの意見等】

＜委員A＞

- ・教育委員会の構成、会議、活動の周知及び情報発信等、運営全般にわたり適切に実施されている。市民への教育行政情報の提供の重要性を鑑み、引き続き積極的な情報発信に努めいただきたい。また、教育委員の自己研鑽についても、多様な形式で励んでいただくことでより良い教育行政運営につながると期待される。

＜委員B＞

- ・「ホームページ」は前年よりも内容が充実し、「広報とば」での長期連載「魚を食べよう」や、地元オリンピック選手に焦点を当てた企画等、より市民への啓発活動を積極的に行っているように感じた。
- ・教育委員の自己研鑽としての学校訪問が昨年度の50%増して実施されたことは、多様化する教育課題への向き合いの積極姿勢であったと思われる。そこで感じたことを教育委員会の会議での議事、議案に反映されることを今後とも期待したい。

II 「第2次鳥羽市教育ビジョン」の取組

多様な社会を生き抜く、知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成

【計画の体系】

【施策1】しっかり学ぶ子どもを育てる

- (1) 基礎学力と情報活用能力を育成する教育
- (2) 英語教育を通してコミュニケーション能力を育てる教育

【施策2】子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育の推進

- (1) 自尊感情と郷土愛を育む教育
- (2) 環境問題や農水産業を柱とした海洋教育

【施策3】多様な個性を認め合う豊かな心と健やかな体を育てる

- (1) 多様性やグローバル化へ対応した教育
- (2) 個に応じた支援を通して誰一人取り残さない教育
- (3) 健康や体力の向上に視点をあてた教育

【施策4】地域・家庭とともにある園・学校づくり

- (1) 地域とともに歩む園・学校の教育
- (2) 家庭・地域と連携した幼児教育
- (3) 安全・安心・快適な教育環境の整備

【施策5】生涯学習やスポーツの推進

- (1) 社会教育施設の充実と活用
- (2) 感性を育むアートに親しむ創作機会や環境の創出
- (3) 人財や文化財を活用した生涯学習
- (4) 生きがいと活力を育む生涯スポーツの推進

【施策 1】しっかり学ぶ子どもを育てる

(1) 基礎学力と情報活用能力を育成する教育

【主な取組と成果】

① 確かな学力と意欲を定着させる

教育振興事業	令和 6 年度決算額	24,072 千円	前年度決算額	4,079 千円
--------	------------	-----------	--------	----------

児童・生徒の学力向上を目的として、全国学力・学習状況調査等の結果を活用し、学力向上委員会において指導方法等について協議を行い、各学校の課題解決に努めました。

また、令和 6 年度小学校教科書改訂に伴い教師用小学校教科書及び指導書を購入したほか、市制 70 周年記念事業として、小学生以下の子どもを対象に、イルカ島での写生会を開催し、保護者世代にとっては懐かしく、子どもたちにとって楽しい思い出となるような機会を創出しました。

- イルカ島写生会参加者 69 人

へき地教育振興事業	令和 6 年度決算額	133 千円	前年度決算額	136 千円
-----------	------------	--------	--------	--------

へき地複式教育に関わる団体への補助を行い、これらの団体を通じて、へき地複式校における教育条件の整備や教育活動の支援を行いました。

教育支援事業	令和 6 年度決算額	17,104 千円	前年度決算額	16,608 千円
--------	------------	-----------	--------	-----------

小学校教育振興事業	令和 6 年度決算額	5,850 千円	前年度決算額	6,830 千円
-----------	------------	----------	--------	----------

中学校教育振興事業	令和 6 年度決算額	5,373 千円	前年度決算額	5,933 千円
-----------	------------	----------	--------	----------

各小中学校において、必要な教材備品及び学校図書備品の整備を行うとともに、ICT 教育におけるサポート環境の充実を図りました。

また、市内の小中学校が一堂に会して活動成果を発表する学校音楽祭の開催や、修学旅行等の校外学習に対する各種補助を行い、学習環境の充実に努めました。

- 各校からの授業研究に係る指導主事への派遣要請を受け現場を訪問し、授業に対する指導及び

助言を行いました。

- 指導主事訪問回数（延べ） 30回（小学校7校） 10回（中学校4校）

② 学校・園・家庭・地域の連携

教育振興事業	令和6年度決算額	24,072千円	前年度決算額	4,079千円
--------	----------	----------	--------	---------

「地域とともにある学校づくり」の推進を図るため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置し、その意見を学校運営に反映させました。さらに、鳥羽小・加茂小・安楽島小・菅島小・弘道小の5校にコミュニティ・スクールディレクターを配置し、地域・学校・家庭の連携強化を図りました。

- 学校別児童・生徒数（令和6年5月1日現在）

<小学校>

区分 学校名	児童数（人）	学級数		
		普通	特別支援	計
鳥羽	163（15）	6	3	9
答志	39（1）	4	1	5
神島	7（0）	3	0	3
菅島	17（1）	3	1	4
加茂	108（9）	6	2	8
安楽島	213（21）	8	4	12
弘道	37（3）	4	1	5
計	584（50）	34	12	46

(注) () 内の数は、特別支援学級児童数（内数）、学級数は実学級数

<中学校>

区分 学校名	生徒数（人）	学級数		
		普通	特別支援	計
鳥羽東	268（9）	9	2	11
答志	26（0）	3	0	3
神島	3（0）	2	0	2
加茂	32（2）	3	1	4
計	329（11）	17	3	20

(注) () 内の数は、特別支援学級生徒数（内数）、学級数は実学級数

<幼稚園>

区分 幼稚園名	園児数(人)				学級数
	3歳児	4歳児	5歳児	計	
かもめ	4	10	10	24	3

○ 学校別教職員数(令和6年5月1日現在)

<小学校>

(単位:人)

区分 学校名	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	計
鳥羽	1	1	13	1	0	1	17
答志	1	1	5	1	1	1	10
神島	0	1	3	1	0	1	6
菅島	1	1	5	1	1	1	10
加茂	1	1	9	1	0	1	13
安楽島	1	1	16	1	0	1	20
弘道	1	1	5	1	0	1	9
計	6	7	56	7	2	7	85

<中学校>

(単位:人)

区分 学校名	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	計
鳥羽東	1	1	21	1	1	1	26
答志	1	1	6	1	0	1	10
神島	1	0	3	0	0	0	4
加茂	1	1	7	1	0	1	11
計	4	3	37	3	1	3	51

<幼稚園>

(単位:人)

区分 幼稚園名	園長	教諭	計
かもめ	1	4	5

③ 新しい学習課題への取組

④ 誰一人取り残さない学びの保障

小学校教育振興事業

令和6年度決算額

5,850千円

前年度決算額

6,830千円

中学校教育振興事業

令和6年度決算額

5,373千円

前年度決算額

5,933千円

小学校 ICT 教育推進事業	令和 6 年度決算額	4,288 千円	前年度決算額	4,156 千円
----------------	------------	----------	--------	----------

中学校 ICT 教育推進事業	令和 6 年度決算額	2,679 千円	前年度決算額	2,438 千円
----------------	------------	----------	--------	----------

GIGA スクール構想に基づく児童生徒 1 人 1 台端末の整備に伴い、通信ネットワーク環境や端末管理に係る各種設定業務、ライセンス契約等を実施し、ICT を活用するための教育環境の整備を進めました。

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和 6 年度 (実績値)	令和 7 年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査の正答率	全国平均と ほぼ同じ	全国平均より 小学校 △9.1 ポイント 中学校 △7.3 ポイント	全国平均を 3 ポイント 以上上回る
授業の内容は「よくわかる」の回 答率	小学校 36.7% 中学校 34.3%	小学校 33.4% 中学校 38.2%	小学校 60% 中学校 60%
各学級の ICT 活用授業時間数	1 時間／1 日	2 時間以上 ／1 日	3 時間以上 ／1 日

【自己評価と今後の取組】

成果指標としている全国学力・学習状況調査の児童・生徒アンケートと鳥羽市独自のアンケート調査結果を実績値として活用したことにより、計画目標値と比較しました。言語活動については、学級の友だちとの間で話し合う活動を「よく行っている・行っている」と肯定的に回答している小学生が 91.7%、中学生が 99.0% であるので、さらに活動の充実を目指すこととします。

めあて・振り返りについては、「めあて」について「よく行った」と回答した割合は小学校 94.8%、中学校 99.0%、「振り返る活動」については小学校 88.5%、中学校 97.1% と、非常に高い定着率を示しています。これは、指導主事要請訪問時の教員への指導・助言の成果であると考えられます。今後も引き続き、授業内での「めあて」や「振り返り」の質の向上を目指し、適用問題の導入や児童・生徒の主体的な学びを引き出す授業づくりを継続して支援します。

「授業内容がよく分かりますか」については、「よくあてはまる」と回答した児童・生徒の割合は、小学校 33.4%、中学校 38.2% と目標値に達していませんが、「あてはまる」まで含めると肯定的な回答は約 80% に達しており、一定の理解は得られていると考えられます。今後は、児童・生徒が興味・関心を持てる課題設定や、主体的に参加できる授業の工夫に努めます。学力向上委員会を中心に授業改善を推進し、分かりやすい授業の実現を目指します。

授業や家庭学習におけるタブレット端末の使用が日常化し、児童・生徒の使用頻度も高くなっています。一部の学校では、保護者の要望を受け、欠席者や不登校児童・生徒のためのライブ配信授業も実施されています。今後も、保護者や児童・生徒のニーズに応じた ICT 教育を推進し、すべての児童・生徒の学びを保障する取組を継続・強化します。

学習ボランティアについては、「三重県教育委員会事務局の大学生等の教育アシスタント活用事業」を活用し、大学生が丁寧な指導を行う姿が見られました。コロナ禍以前と比べて人数は減少していますが、学習支援として有効に機能しています。今後も、鳥羽市独自の学習サポーターや学習ボランティアの拡充を図り、個別最適な学びを支えるきめ細かな指導の実現を目指します。

成果指標に対して計画目標値の達成には至りませんでしたが、児童・生徒の学力に関する各種アンケート結果や授業の取組状況から、一定の成果と改善の方向性が見えてきました。今後も『確かな学力』（「基礎的な知識・技能」「知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力」「学習に取り組む意欲」）の向上をめざし、これまでの指導方法や学力向上のための取組を継続的に検証・評価・改善していきます。現代社会では、変化の激しい時代を生き抜くために、問題を解決する力、困難を乗り越える力、コミュニケーション力が求められています。こうした力を育むために、「基礎的・基本的な知識・技能」の習得にとどまらず、それらを活用して課題に向き合う「思考力・判断力・表現力等」や「主体的に学習に取り組む態度(学びに向かう力)」を重視し、学力の三要素として総合的に育成していきます。特に「何を理解しているか、何ができるか」「理解していること・できることをどう使うか」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」という視点から必要な資質・能力を明確にし、それを育成するための「どのように学ぶか」に焦点を当てた授業づくりを推進します。

そのために、今後も指導主事の要請訪問や研修等を通じて学校現場への支援を充実させ、児童・生徒一人ひとりの学力向上と、より良い授業実践の定着に努めてまいります。

【委員からの意見等】

＜委員A＞

- ・学校教育活動に関わる備品・設備の充実、指導・支援人員の派遣等、教育活動充実のための施策は概ね実行されていると評することができる。それにも関わらず、成果指標として挙げる全国学力・学習状況調査の正答率が小・中学校ともに全国平均より大きく低い結果となっている。教育委員会としてその要因を分析するとともに、学習指導の在り方の改善可能性について検討することが求められる。

＜委員B＞

- ・全国学力・学習状況調査のアンケートで、「めあて」「振り返り活動」の数値が小中とも高ポイントで維持されたことは、指導主事の助言、小中学校あげての一体的な意識改革ができていたということで評価できる。ただ、学力の定着という観点である「正答率」については、小、中学校とも前年度より悪化し、特に小学校では約3倍弱後退している現状について、特に気になる点である。「めあて」「振り返り活動」としての形はできつつあるが、授業内容は「よくわかる」と設問で「よくあてはまる」と回答した小学生が10%も減少していることと、「正答率」の減少の関係性をより分析し、今後の効果的な指導主事を中心とした指導、助言を期待したい。
- ・友だちとの間での話し合う活動の「よく行っている・行っている」との回答が、高ポイントを維持できていることは、教師、子ども達がその活用スキルを身に付け、市が力を入れているICT活用の学習が定着したことによるものと評価できる。

(2) 英語教育を通してコミュニケーション能力を育てる教育

【主な取組と成果】

① 新しい学習課題への取組

外国語教育推進事業	令和6年度決算額	15,759千円	前年度決算額	15,438千円
-----------	----------	----------	--------	----------

児童・生徒の外国語への興味、関心を引き出し、目標を持って取り組むことができるよう小中学校において、英検 Jr と英検チャレンジを実施しました。令和5年度まで、小学6年生を対象としていた英検ジュニアを小学5年生が受験し、小学6年生は英検5級を受検しました。

- 英検 Jr 小学5年生 106人
- 英検 小学6年生 95人
- 中学1年生 88人 中学2年生 103人 中学3年生 68人

② 英語を用いたコミュニケーション活動の推進

外国語教育推進事業	令和6年度決算額	15,759千円	前年度決算額	15,438千円
-----------	----------	----------	--------	----------

市内幼稚園及び小中学校に外国人英語指導助手3人を派遣し、外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、子どもたちのコミュニケーション能力の向上と国際理解を深めるための教育を進めました。

③ 小中で一貫した英語教育のための研修の実施

神島小・中学校を英語モデルスクールに指定し、市内小中学校外国語担当教員を中心に研修を実施しました。複式での外国語活動の授業を参観しました。その授業をもとに小学校・中学校それぞれで子どもたちに身につけさせたい力について話し合い、授業改善につなげる研修を進めました。

④ 鳥羽ならではの授業スタイルの構築

英語教育推進担当者会で各校の外国語授業への取組について交流を行いました。少人数学級や

複式学級における授業での工夫について話し合い、子どもの実態に合わせた授業づくりを考えました。

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和6年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
中学3年生の英検3级以上合格率	37.1 %	50.0%	60.0 %

【自己評価と今後の取組】

- 令和3年度からALT（外国人英語指導助手）を3人配置することで、英語と触れ合う時間が増えています。これにより、英語への親しみや学習意欲の向上が期待されています。
- 児童・生徒の一人ひとりの学習到達度に応じた「個別最適な学び」を実現するために、英語科では、AI機能付き学習端末（学習アプリ）を導入しました。これにより、朝の学習時間や、家庭学習を使用した短時間で効率的な学習が可能となり、児童・生徒の学習の進捗状況も一目で把握できるなど、良い成果が見られました。今後は、学習アプリを日常の授業と関連づけながら、児童・生徒がより自主的・主体的に学習できるよう取組を進めていきます。さらに、学習アプリの効果をより高めるため、教員向けの研修も実施し、児童・生徒の意欲的な活用につなげていきます。

【委員からの意見等】

<委員A>

- 前年度から引き続き英語教育の充実が図られている。成果指標から、以前と比較して着実に成果を挙げていることを確認することができる。とはいえ、目標には未達であるので、引き続き着実な活動を継続していただきたい。

<委員B>

- 成果指標の「中学3年生の英検3级以上合格率」が50%を越えたことは、市の教育の2本柱として力を入れているとしても、すばらしい成果である。児童・生徒の意欲につながるような教員向けの研修等もその一助となったことであろう。鳥羽市の強みとして、今後もその取組に期待したい。
- 厳しい財政事情の中、引き続き外国人英語指導助手3人体制を維持できたことは、園児、児童、生徒の英語コミュニケーション能力の育成に必ず役立つと思われる。鳥羽市教育委員会の英語教育への積極性を、今後も継続してもらいたい。

【施策2】子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育の推進

(1) 自尊感情と郷土愛を育む教育

【主な取組と成果】

- ① 「人権感覚あふれる学校づくり」の推進と人権教育・学習の充実
- ② 系統性を持った人権教育の取組

教育振興事業	令和6年度決算額 24,072千円	前年度決算額 4,079千円
--------	----------------------	-------------------

鳥羽市人権フォーラム担当者を中心に、各小・中学校における人権教育を推進するため「鳥羽市人権フォーラム」を開催しました。

人権フォーラムでは、児童・生徒による取組について、発表や意見交換を行うことで、人権問題を再認識し、感性を高めることができました。

- 人権フォーラム参加児童・生徒人数
小学生 27人（6校）
中学生 18人（4校）

- ③ 地域の魅力を伝える教育
- ④ 郷土の良さを紹介できる子どもの育成
- ⑤ 地域の環境や人材を活かした体験活動の推進

人材育成講座 「地球塾」事業	令和6年度決算額 21千円	前年度決算額 1,423千円
-------------------	------------------	-------------------

人材育成講座「地球塾」は、通常（一般向け）の講座ではなく、初めての試みとして夏休みに小学生を対象に「ミキモト真珠島と御木本幸吉」をテーマに3回の特別連続講座を実施しました。

市内小学4年生から6年生を対象に実施している郷土学習「とばっこ検定」については、4年生及び6年生の検定をオンライン形式で、また、5年生は海の博物館でのウォークラリー形式で行った結果、全員合格を果たしました。また、令和5年度に作成した鳥羽歴史学習本「とばっこ探偵団」英語版を市内中学生に配布しています。なお、決算の差異は、令和5年度にとばっこ探偵団英語版の作成にかかる印刷製本費を支出しましたが、令和6年度は支出がなかったことが要因です。

とばっこ検定に向けた出前講座については3校で実施しました。鳥羽小学校では、令和7年3月に児童が鳥羽駅周辺で観光案内を実施することから、事前学習の一環として出前講座が活用さ

れました。また、ミキモト真珠島の施設見学を希望する学校が2校あり、検定にむけた事前学習の機会となりました。

⑥ 食材を通して地域の良さを再確認し郷土愛を育む食育

学校給食運営事業	令和6年度決算額 114,441千円	前年度決算額 97,109千円
----------	-----------------------	--------------------

学校給食法に基づき、児童・生徒の心身の健全な発達を目的として、栄養バランスのとれた学校給食を提供しました。また、学校給食を通じて食育の推進にも取り組みました。

年2回（10月・2月）、児童・生徒が「自然豊かな鳥羽」の良さを再認識し、郷土への愛着を育むことを目的として、地元で採れる新鮮な旬の食材を給食に取り入れた「鳥羽が好きふるさと給食」（幼稚園・小中学校同一メニュー）を実施しました。

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和6年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
とばっこ検定合格率	100 %	100 %	100 %
鳥羽市の食材（農水産物等）使用率	27.5 %	13.6 %	30.0 %

【自己評価と今後の取組】

- ・ 小・中学校人権フォーラムを開催し、児童・生徒が自分の思いを伝え、友だちの思いを聞き、考えを深め、実践につなげられるように取組を進めました。
- ・ 島っ子ガイドをはじめとした地域学習の取組を各小中学校で積極的に進めてきました。児童・生徒が地域の魅力を学び、それを発信することで、郷土愛の醸成や表現力の向上につながっていると評価しています。また、学校と地域が連携して教育活動の基盤づくりを進めています。これらのことから、地域連携教育の推進に一定の成果が見られたと判断しています。今後は、全ての小学校にコミュニティ・スクールディレクターを配置し、ゲストティーチャーやボランティアにかかる人材バンクの作成、児童・生徒の見守り活動、避難所運営訓練の実施など、地域と学校が連携した取組をより一層進め、地域と学校が共に子どもを育て、共に地域を作るという理念のもと、子どもたちの健やかな成長と地域の活性化を両立させることを目指します。
- ・ 地元食材を活用した「鳥羽が好きふるさと給食」を通じて、児童・生徒は鳥羽の自然の豊かさや、食材を育てる生産者の思いに触れることができました。この活動は、単なる給食の提供にとどまらず、地域の食文化や産業への理解を深める食育の実践の場として大きな効果がありました。また、地域とのつながりを感じることで、子どもたちの郷土への誇りや愛着を

育むきっかけにもなったと考えています。今後も食材を通して地域の魅力を再認識できる機会を積極的に設けていきます。

- ・とばっこ検定は、3学年で実施を始めてから5年目を迎えて定着してきました。今年度も小学4・6年生はオンライン形式で行い、5年生は海の博物館内においてフィールドワーク形式で行うなど、円滑に実施することができました。

【委員からの意見等】

＜委員A＞

- ・学校給食への鳥羽市の食材（農水産物等）使用率が低いことについて、物価高騰の影響や安定的な供給体制を構築することが困難であること等の事情があるとのことでやむを得ない面はあると思われる。
- ・とばっこ検定や島っ子ガイドなど郷土愛を育む教育活動においては着実に実績を重ねているので、実践の継続を願いたい。

＜委員B＞

- ・一般対象であった「地球塾」を夏季休業日の特別講座として企画したことは、「海の博物館ウォークラリー」に次いで、「とばっこ検定」の内容を体験的に学ぶ場の創設であり、その意欲を評価するとともに、今後の展開に期待したい。
- ・コミュニティ・スクールディレクターの存在は、各学校の状況に応じて、それぞれが地域を熟知しているが故に意義は深い。教員だけでは気づかなかった地域人材の発掘を一層進めてもらうことで、小中が連携した系統的な子どもたちの郷土愛の育みにつなげてもらいたい。

(2) 環境問題や農水産業を柱とした海洋教育

【主な取組と成果】

① 海洋教育の推進

海洋教育推進事業	令和6年度決算額 3,658千円	前年度決算額 497千円
----------	---------------------	-----------------

各小・中学校において、海に関する校外学習や郷土学習を取り入れた海洋教育カリキュラムを活用し、学習拠点・研究拠点・生産拠点との連携を図りました。

また、関係機関への訪問や海環境体験、学芸員を招いた出前授業などを実施し、海洋教育の推進を図りました。

交流事業や体験活動を通して国際的な視野を広げるとともに海洋教育に関する課題を共有し、グローバルな視点で学ぶ機会を創出するため、多くの共通点を持つパラオ共和国に中学生を派遣しました。また、小学生を対象として市制70周年記念特別記念講演「一緒に海のことを考えよう」を開催しました。

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和6年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
海洋教育（郷土教育）の カリキュラム化	小学校4～6年 100%	幼小中全学年 100%	幼小中全学年 100%

【自己評価と今後の取組】

- 市内外の有識者や海に関する関係機関と海洋教育推進委員会を組織し、各関係機関が作成したカリキュラムを活用し、市内の小中学校において海に関する学習を推進した結果、児童・生徒の海への关心や理解が深まり、地域の特性を活かした鳥羽市ならではの海洋教育として一定の成果が得られたと評価しています。今後は、これまでの実践から得られた成果や課題を踏まえ、カリキュラムのさらなる改善・充実を図っていきます。
- 持続可能な海洋教育の推進を図るため、市内にある海に関する学習拠点や研究拠点、生産拠点を活用した学びを進めます。
- 海洋教育に関する課題を共有し、グローバルな視点での学びを深めることを目的に、パラオ共和国への中学生派遣を実施しました。これは、児童・生徒が日本と異なる海洋環境や文化に直接触れる貴重な機会であり、国際的な視野を持って海や環境の問題を考えるきっかけと

なります。これにより、地域の学びにとどまらず、世界に目を向けた学びへの第一歩を踏み出せたと評価しています。今後は、パラオ共和国との交流を継続的なものとし、グローバルな海洋教育の充実を図っていきます。

【委員からの意見等】

＜委員A＞

- ・海洋教育は鳥羽市の強みとなりうる学習活動であると思われるが、現状においてその適切性を評価することができる。児童生徒が海について自然や歴史、産業といった多面的な学習ができるよう引き続き充実を図っていただきたい。

＜委員B＞

- ・パラオ共和国に派遣された中学生の体験談や感じ取ったことを、どのように他の中学生に還元し、グローバルな視野の育成につなげていくのか、初年度であるのでしっかりと評価し（この項目は予算的に約7倍となったわけであるので、費用対効果の面からも）、今後の取組に生かして欲しい。
- ・海洋教育を各学校が独自の切り口から学びに取り組むことは、鳥羽市に住み続ける子どもたちのアイデンティティにつながるものとして評価できる。今後もマンネリズムに陥らず、現場のニーズに合致したカリキュラムの改善、改良を加えていくことを忘れてはならない。

【施策3】多様な個性を認め合う豊かな心と健やかな体を育てる

(1) 多様性やグローバル化へ対応した教育 ・・・・・・・・

【主な取組と成果】

① 人権教育・学習の充実

教育振興事業	令和6年度決算額	24,072千円	前年度決算額	4,079千円
--------	----------	----------	--------	---------

鳥羽市人権フォーラム担当者を中心に、各小・中学校における人権教育の推進を行い、鳥羽市人権フォーラムを開催しました。

人権教育推進事業	令和6年度決算額	2,507千円	前年度決算額	2,189千円
----------	----------	---------	--------	---------

人権意識や人権感覚を高める研修や啓発活動を広く進めることによって、学校や職場、家庭及び地域社会において、一人ひとりの人権が尊重され、差別のない明るい社会の実現を図ることを目的に事業を推進しました。身边にある偏見や決めつけに関する事、いじめや差別に関する事、性の多様性に関する事、障がい者の人権に関する事、身边にある偏見や決めつけに関する事など、現代社会における様々な人権課題について学ぶ機会を創出しました。

- 講演会・学習会 開催回数 9回 参加者数 653人

② 道徳教育の推進

道徳教育推進委員会において、道徳の授業づくりについて話し合い、子どもたちの発達段階や実態に応じた道徳授業を考えました。子どもたちが自分の考えをもち、学級の中で多様な感じ方や考え方に対する中で、考えを深められる授業となるよう話し合い、各校での実践に生かしました。

③ 多文化共生教育の推進

外国語教育推進事業	令和6年度決算額	15,759千円	前年度決算額	15,438千円
-----------	----------	----------	--------	----------

市内幼稚園及び小中学校に外国人英語指導助手3人を派遣し、外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、子どもたちのコミュニケーション能力の向上と国際理解を深めるための教育を進めました。

④ 安全安心でおいしい給食の提供

学校給食運営事業	令和6年度決算額 114,441千円	前年度決算額 97,109千円
----------	-----------------------	--------------------

学校給食法に基づき、児童・生徒の心身の健全な発達を目的として、栄養バランスのとれた学校給食を提供するとともに、学校給食を通じて食育の推進にも取り組みました。

また、経済的理由により就学が困難な状況にある児童・生徒の保護者に対して、学校給食費の援助を行いました。加えて、昨今の食材費高騰に対しては、児童・生徒や保護者への影響が生じないよう給食費の値上げはせず、ふるさと創生基金を活用し物価高騰分の賄材料費を負担しました。

さらに物価高騰対応重点地方創生臨時交付金を活用し小中学校の2月及び3月分の給食費を無償化しました。

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和6年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査での「自分にはよいところがある」(自尊感情)と答えた割合(肯定的な回答の割合)	小学校 74.0% 中学校 70.9%	小学校 71.5% 中学校 83.6%	小学校 85.0% 中学校 80.0%

【自己評価と今後の取組】

- 自己肯定感を高めることは、どの学校でも課題となっています。児童・生徒の実態を把握し、授業や学校生活を通じて、児童・生徒同士をつなげていく取組を続けていきます。
- 経済状況に左右されず、全ての児童・生徒が安心して学校給食を受けられる体制を維持しました。また、地元でとれる新鮮な旬の食材を給食に活用することで「自然豊かな鳥羽」の魅力の再認識と郷土愛を育む「鳥羽が好きふるさと給食」を今後も継続していきます。

【委員からの意見等】

＜委員A＞

- ・多様性やグローバル化へ対応した教育に関する諸事業の実施については問題なしと評することができる。一方で、成果指標であるところの「全国学力・学習状況調査での『自分にはよいところがある』（自尊感情）と答えた割合（肯定的な回答の割合）」において、小学校の値が当初値である令和元年度ならびに目標値である令和7年度のいずれと比較しても下回っており、その要因の分析と対応が望まれる。

＜委員B＞

- ・昨年度に比べて、全国学力・学習状況調査での「自尊感情」の数値が、中学校は令和7年度の目標値をクリアできたが、小学校では12ポイント急減少した。この減少は看過できない数値であり、自己評価にもあるように、対象学年の児童の実態把握に努め、原因を明らかにし、次年度につなげていく取組をしてもらいたい。

(2) 個に応じた支援を通して誰一人取り残さない教育

【主な取組と成果】

① 特別支援教育の充実

教育支援事業	令和6年度決算額	17,104千円	前年度決算額	16,608千円
--------	----------	----------	--------	----------

小学校管理業務 (学校教育課)	令和6年度決算額	30,474千円	前年度決算額	28,980千円
--------------------	----------	----------	--------	----------

中学校管理業務 (学校教育課)	令和6年度決算額	9,998千円	前年度決算額	8,873千円
--------------------	----------	---------	--------	---------

障がいのある児童・生徒への特別支援教育を総合的に推進するため、専門的知識や経験を有する巡回相談員を派遣しました。

小中学校に在籍する様々な障がいのある児童・生徒や特別な支援を必要とする児童・生徒に対して適切な支援を行うため、特別支援教育支援員を小学校に17人、中学校に4人を配置しました。支援員は、学校における日常生活の介助や学習活動の補助などを通して、児童・生徒の自立に向けた支援を行いました。

特別支援教育就学対策事業（小）	令和6年度決算額	1,373千円	前年度決算額	900千円
-----------------	----------	---------	--------	-------

特別支援教育就学対策事業（中）	令和6年度決算額	349千円	前年度決算額	219千円
-----------------	----------	-------	--------	-------

心身に障がいのある児童・生徒が適切に就学できるよう、関係機関との連携を強化とともに、特別支援学級および通級指導教室を設置する学校の機能充実を図りました。

また、特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対しては、世帯の所得に応じて就学に必要な経費を扶助し、経済的負担の軽減に努めました。

- 特別支援教育就学奨励費受給者数 18人（小学校）
- 特別支援教育就学奨励費受給者数 3人（中学校）

教育支援事業	令和6年度決算額	17,104千円	前年度決算額	16,608千円
--------	----------	----------	--------	----------

小・中学校に入学予定で、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の保護者に適切な就学指導をするため、教育支援委員会（医師、教員、保育士などで構成）を年間11回開催しました。

② 不適応・不登校児童・生徒への支援の推進

教育支援事業	令和6年度決算額 17,104千円	前年度決算額 16,608千円
--------	----------------------	--------------------

様々な理由で不登校となるなど、学校生活に悩みを抱える児童・生徒に対し、実態に即した指導や支援を行いました。

児童・生徒の自立を支援するため、教育支援センター（H A R P）に専任指導員1人と会計年度任用職員2人を配置し、通級する児童・生徒に対して生活面の指導や学習支援などを行いました。

また、学校への定期的な訪問を通じて、集団への適応が難しい、または不登校傾向にある児童・生徒への支援も実施しました。

子どもたちが心にゆとりをもって学校生活が送れるよう、悩みごとを気軽に相談できる体制として、「心の教室相談員」を学校と教育支援センターHARPに4名配置しました。

相談員は授業中や休み時間など、さまざまな場面で子どもたちの様子を観察し、積極的に声かけや対話をを行うことで、児童・生徒の心の安定を図る支援に努めました。

- 心の教室相談員配置校：鳥羽東中、教育支援センターHARP・ながおか教室

③ 学びのセーフティネットの構築

就学援助事業（小学校費）	令和6年度決算額 6,264千円	前年度決算額 5,682千円
--------------	---------------------	-------------------

就学援助事業（中学校費）	令和6年度決算額 8,518千円	前年度決算額 6,788千円
--------------	---------------------	-------------------

高校生修学支援事業	令和6年度決算額 3,002千円	前年度決算額 3,409千円
-----------	---------------------	-------------------

経済的な理由により就学に困難を抱える児童・生徒の保護者に対し、学用品費や給食費、校外活動費など、就学に必要な経費の一部を援助する就学援助制度を実施しました。

また、地理的条件のため遠距離通学をしている児童・生徒の保護者に対し、通学費の補助を行いました。これにより、すべての児童・生徒が安心して教育を受けられる環境の整備に努めました。

- 遠距離通学費補助対象児童数 112人
- 遠距離通学費補助対象生徒数 36人

離島在住の高校生及び市内在住の鳥羽高校生について、教育における経済的負担の軽減を図るため、通学費や下宿費の一部について補助を行いました。

また、近隣の高校を通じて、該当生徒に対して補助制度の案内を行い、制度の周知に取り組みました。

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和6年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
特別な支援を必要とする通常学級在籍児童・生徒の個別指導計画作成の割合	62.9 %	100.0 %	100 %

【自己評価と今後の取組】

- 特別な支援を必要とする子どもたちが、自立し社会に参画していくために必要な力を育むことを目的として、一人ひとりの状況に応じた合理的配慮の提供と学びの支援を行いました。子育て支援室などの関係機関と連携し、途切れのない継続的な支援体制を整えることで、子どもたちが安心して学べる環境づくりに努めました。
- 不適応や不登校傾向のある児童・生徒に対しては、教育支援センターHARPに専任指導員1名と会計年度任用職員2名を配置し、通級する児童・生徒に対する生活指導や学習支援、保護者からの教育相談等を実施しました。
- 経済的な理由により就学に困難を抱える家庭に対しては、就学援助制度を活用し、必要な経費の支援を行うことで、すべての子どもが等しく教育を受けられるよう取り組みました。
- 今後も様々な事情により支援が必要な児童・生徒一人ひとりに対して、個別の状況に応じた合理的配慮と学びの支援を継続的に行い、すべての子どもが安心して学び、成長できる教育環境の実現を目指してまいります。

【委員からの意見等】

<委員A>

- 本項目における諸事業は公教育の役割を鑑みて極めて重要となる事業が含まれる。その観点からも特別支援教育、不適応・不登校児童・生徒支援、学びのセーフティネットの構築とともに適切な支援が実施されていると思われる。引き続き、支援の「取りこぼし」が発生しないよう教育委員会と学校や地域、あるいは行政他部局と情報を共有しながら運営に取り組んでいただきたい。

<委員B>

- ・学校不適応や不登校傾向の児童、生徒や個別の支援・対応を必要とする児童・生徒の割合が、年々増加している。この現状を踏まえて職員を1名増員したことは適切な対応であった。教育支援センター等の関係機関との情報共有、連携、支援を丁寧に遂行し、様々なニーズに対応できるような教育を今後も継続をしてもらいたい。

(3) 健康や体力の向上に視点を当てた教育

【主な取組と成果】

① 豊かな心と健やかな体を育てる

小学校教育振興事業	令和6年度決算額	5,850千円	前年度決算額	6,830千円
-----------	----------	---------	--------	---------

中学校教育振興事業	令和6年度決算額	5,373千円	前年度決算額	5,933千円
-----------	----------	---------	--------	---------

市内の小中学校が一堂に会し活動の成果を発表する学校音楽祭の開催や修学旅行等の校外学習における各種補助を行い、学習環境の充実を図りました。

ボランティア団体「読み聞かせの会」の協力を得て、希望する小学校を訪問し、絵本や紙芝居を用いた読み聞かせを行い、学校での読書指導と合わせ児童の読書への関心・意欲の向上を図り想像力や感性を豊かにすることことができました。

- 「読み聞かせの会」学校訪問回数 13回

学校図書館整備事業	令和6年度決算額	4,894千円	前年度決算額	4,753千円
-----------	----------	---------	--------	---------

小中学校の学校図書館に司書を派遣し、児童・生徒が興味をもって本に親しめるよう、特設コーナーの設置や各種イベントを行いました。また、図書担当教員への指導・助言を行うとともに、図書館を活用した授業の推進を図り、児童・生徒の読解力や文章力の向上に努めました。

- 司書派遣日数 小学校 33日/年 中学校 16日/年

② コオーディネーショントレーニングの推進

生涯スポーツ振興事業	令和6年度決算額	5,772千円	前年度決算額	5,910千円
------------	----------	---------	--------	---------

コオーディネーショントレーニングについて、神島小中学校でモデル事業を実施しました。小学校1年生から中学校3年生まで全校生徒で楽しみながら体力・運動能力の向上の基礎作りに取り組みました。

※ コオーディネーショントレーニング・・・脳と体幹に刺激を与えることで、運動の器用さを高めるとともに、その土台となる運動学習能力を養うトレーニング

項目	回数（回）	参加者延べ人数（人）
コオーディネーショントレーニング	4回	教 員 6人 小学1.2年生 2人 小学3.4年生 4人 小学5.6年生 1人 中学 2年生 1人 中学 3年生 2人

③ 学校部活動の在り方についての検討

中学校管理業務

令和6年度決算額	9,998千円	前年度決算額	8,873千円
----------	---------	--------	---------

鳥羽東中学校に専門的な知識・技能を有する部活動指導員を5名配置し、技術的な指導や大会への引率を行うことにより、教職員が部活動以外の生徒指導や授業準備等に充てる時間の確保を図りました。

○ 部活動指導員（鳥羽東中） 5人

（フェンシング部・剣道部・女子バレーボール部・女子バスケットボール部・文化部）

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和6年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
園児の図書年間貸出冊数（一人当たり）	65.0 冊	40.0 冊	70.0 冊
児童の学校図書年間貸出冊数（一人当たり）	46.6 冊	33.8 冊	50.0 冊
生徒の学校図書年間貸出冊数（一人当たり）	4.7 冊	2.8 冊	10.0 冊
コオーディネーショントレーニングに取り組む学校の割合	92.3 %	100.0%	100.0%

【自己評価と今後の取組】

- 学校図書の年間貸出冊数は全体的に減少傾向にありますが、図書委員によるイベントの実施や、学校司書による朝の読み聞かせなど、読書に親しめる工夫を行ってきました。また、鳥羽東中学校では、校舎の大規模改修で新図書室の整備を行い、より良い読書環境の整備に取

り組みました。今後も引き続き、本に親しむ機会の創出に努めていきます。

- ・鳥羽東中学校において、フェンシング部・剣道部・女子バレー部・女子バスケットボール部・文化部に部活動指導員を配置し、教職員の時間外勤務の縮減を図るとともに、生徒に対して専門的かつ充実した指導を行いました。次年度以降も、教職員の負担軽減と生徒の健全な成長を目的として、引き続き継続的に取り組んでまいります。

【委員からの意見等】

＜委員A＞

- ・読み聞かせの会やコオーディネーショントレーニング、部活動指導員の配置のいずれも必要に応じた実施が実現できていると評することができる。ただし、成果指標として挙げる図書の貸出冊数が目標値に大きく至っていないので改善の工夫が求められる。

＜委員B＞

- ・学校図書の年間貸出冊数について、園児、児童は横ばいか微増となった。昨年度と比べると大きく改善に向かったことは大いに評価できる。しかし、令和7年度の目標値からは、以前として低位であるとともに、中学校に至っては目標値4分の1近くに減少している。園児、児童への対策と中学生への対策をしっかり振り返ってもらい、デジタル化が日々進んでいる現在、目標数値の見直しを含めて丁寧に考察してもらいたい。またデジタル化が進んでも、読書は脳を鍛えるために、とても重要なツールであるスタンスはぶれてはいけない。

【施策4】地域・家庭とともにある園・学校づくり

(1) 地域とともに歩む園・学校の教育

【主な取組と成果】

① 「地域とともにある学校づくり」の推進

教育振興事業	令和6年度決算額 24,072千円	前年度決算額 4,079千円
--------	----------------------	-------------------

「地域とともにある学校づくり」の推進を図るため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置し、その意見を学校運営に反映させました。さらに、鳥羽小・加茂小・安楽島小・菅島小・弘道小の5校にコミュニティ・スクールディレクターを配置し、地域・学校・家庭の連携強化を図りました。

放課後子供教室推進事業	令和6年度決算額 2,046千円	前年度決算額 2,095千円
-------------	---------------------	-------------------

児童の放課後の安全安心な居場所づくりや地域との交流を目的に、スポーツ、物作り、調理などの様々な体験を創出するため、運営業務を委託し事業を進めました。

- 全体登録者：255人
- かもっこ放課後子ども教室 回数：12回 延べ参加人数：354人
- あらっこ放課後子ども教室 回数：16回 延べ参加人数：441人
- とびっこ放課後子ども教室 回数：8回 延べ参加人数：478人

青少年サポートセンター運営事業	令和6年度決算額 76千円	前年度決算額 99千円
-----------------	------------------	----------------

学校、保護者、警察、行政などから推薦をいただいた57人を指導員として委嘱し、子ども達の下校時間に合わせサポートセンター職員による見回りを実施しました。

また、市内外から多くの来場者で賑わう赤崎まつりや鳥羽みなとまつりの開催に伴い、夜間合同パトロールの実施や夏期の青少年非行防止強化期間の啓発活動を実施しました。

② 地域の特色を活かした学校運営協議会活動の推進

活力ある学校づくり推進事業（小学校費）

令和6年度決算額	1,832千円	前年度決算額	1,454千円
----------	---------	--------	---------

活力ある学校づくり推進事業（中学校費）

令和6年度決算額	1,416千円	前年度決算額	1,092千円
----------	---------	--------	---------

特色ある学校活動を実践することで、児童生徒の活力を引き出す学校づくりを推進しました。

また、各学校においては、校外学習の実施や地域と共に学校づくりに取り組み、体験を通じた学習活動の充実を図りました。

<小学校>

- ・鳥羽小学校 海洋教育推進事業、地域文化推進事業、英語教育推進事業など
- ・答志小学校 ひらめの稚魚放流学習、海の子フェスタと防災集会事業など
- ・神島小学校 神島っ子ガイド活動、島っ子太鼓継承活動、学校間交流など
- ・菅島小学校 島っ子ガイド推進事業、漁業に関する学習会、わかめの種付けなど
- ・加茂小学校 地域産業体験学習（稻作体験学習、畑作体験学習）、海洋教育推進事業など
- ・安楽島小学校 陸上競技体験学習、水耕栽培学習、地元の遺跡学習など
- ・弘道小学校 地域ふるさと学習、学校間交流、地域性を活かした海洋教育など

<中学校>

- ・鳥羽東中学校 自主自立推進事業、文化構築事業、人権感覚育成事業など
- ・答志中学校 わかめ養殖体験学習、文化的活動推進事業、キャリア教育推進事業など
- ・神島中学校 和楽器体験、学校間交流事業、キャリア教育・職場体験学習、地域交流事業など
- ・加茂中学校 命の大切さを学ぶ教育、文化活動奨励事業、キャリア教育推進事業など

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和6年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
学校運営協議会設置小学校数	1校	7校	7校
郷土学習をもとにしたガイド活動などの発信活動を実施した小学校数	2校	4校	7校

【自己評価と今後の取組】

- ・学校運営協議会を通じて、地域住民や保護者、学校関係者が一体となって学校運営に参画する体制づくりを推進しました。今後も、学校運営協議会の機能をさらに活性化させるため、

委員との双方向の対話を重視しながら、より実効性のある協議を行っていきます。また、学校評価や教育課題の共有を通じて、地域とともに課題解決に取り組む姿勢を強化し、「地域とともにある学校」の実現をめざしてまいります。

- ・ 地域の特色を生かした体験学習などを通して、子どもたちが地域について学び、その魅力や課題を自ら発信する機会をつくりました。こうした学びと発信の活動を通じて、地域の未来を自分ごととして考え、主体的に行動できる力を育み、地域社会の持続可能性を高める取組を進めていきます。
- ・ 放課後子供教室においては、学校と地域が連携し、防災マップ作りや工作、調理、スポーツなど様々な体験活動を通じて児童の安全安心な放課後の居場所づくりに努めました。年度末に実施する児童や保護者向けのアンケートでは、放課後子供教室の開催を期待する声も多く、今後も継続的に取組を進めていきます。

【委員からの意見等】

＜委員A＞

- ・ 諸事業いざれも地域と園・学校の協働を深める活動ができると評価することができる。学校運営協議会についても運営や役割が定着しつつあることが予想されるので、機を見てその活動の在り方を振り返ることが必要となると想定される。

＜委員B＞

- ・ 昨年度、市内すべての小学校に「学校運営協議会」が設置され、その体制が整備された。自己評価にもあるように、ぜひ「双方向の対話」を重視し、それぞれの地区特性を踏まえて、そこに住む方々の知識・経験・技能を活用できる実効性のあるシステムとなっているのか、評価していただきたい。

(2) 家庭・地域と連携した幼児教育

【主な取組と成果】

① 幼稚園における教育の充実

幼児教育の質の向上を図るため、2学期に指導主事等による要請訪問を実施し、幼児教育で重要な5つの領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）を意識した保育実践の充実を図りました。また、幼稚園・小学校・中学校との連携を深めるために、異校種間での交流活動や相互の授業参観を実施し、教育の一貫性を意識した取組を行いました。

② 家庭・地域との連携の推進

生活習慣チェックシートの活用や保健だよりの発行を通じて、子どもの園での様子を家庭に伝えるとともに、保護者から家庭での様子を聞くことで、双方向の「対話的」な関係づくりが進みました。これにより、家庭と園が連携して子どもを育てる体制が強化されました。

③ 子どもの発達等の多様性に対応した教育の提供

「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」との連携を通じて、個々の子どもの発達状況に応じた情報共有を図り、適切な支援につなげる体制を整えました。さらに、3学期には小学校への円滑な接続を目指し、入学予定の子どもについて小学校教員への情報引き継ぎの機会を設け、発達の連続性を踏まえた支援ができるよう努めました。

④ 将来を見据えた公立幼稚園のあり方

幼稚園管理業務	令和6年度決算額 39,343千円	前年度決算額 32,736千円
---------	----------------------	--------------------

少子化に伴い幼児数が減少傾向にある中、認定こども園化を視野に入れた運営体制の見直し等について、今後の方向性を整理していく必要があります。教育と保育の質を確保できる人員体制や施設整備等、将来を見据えた具体的な協議ができる体制づくりを進めていきます。

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和 6 年度 (実績値)	令和 7 年度 (目標値)
家庭・地域と協働して実施した 体験活動の回数	10 回/年	24 回/年	11 回/年

【自己評価と今後の取組】

- かもめ幼稚園の令和 6 年度の在園児数は、24 名と前年度と比べ 2 名の増加となりました。預かり保育を希望する園児数も 21 名と割合が高く、共働き世帯の増加による保育ニーズの高まりが顕著になっています。
- 地域の実情に応じた運営体制と質の高い幼児教育の両立を図るため、保育所等の関係機関と協議する場を設けるなど、持続可能な幼稚園の在り方について検討を進めていきます。
- 特別な支援を必要とする就学前の子どもについて、各校・園・所との情報共有を進めるとともに、鳥羽市教育支援委員会において外部専門機関の助言等も活用しながら、一人ひとりのニーズに応じた最適な学びの提供に取り組んでいきます。また、就学前から義務教育へと円滑に接続できるよう、保育所・幼稚園・小学校・中学校との連携が確実に行われるよう、引き続き働きかけを継続してまいります。

【委員からの意見等】

<委員 A >

- 成果指標から判断することができるよう、幼稚園においても家庭・地域と連携した教育活動が実施されている。将来を見据えた公立幼稚園のあり方については、鳥羽市の実情に応じて検討を重ねていくことが望まれる。

<委員 B >

- 少子高齢化の進み方、特に出生数の激減は、鳥羽市の幼児教育・保育の運営体制の見直しと、早期認定子ども園創設をベースとした重要課題ととらえて取り組んでもらいたい。

(3) 安全・安心・快適な教育環境の整備

【主な取組と成果】

① 災害に強い学校づくり、人づくり

学校安全総合支援事業	令和6年度決算額	1,002千円	前年度決算額	949千円
------------	----------	---------	--------	-------

市内の教育関係者を対象に、有識者による防災・減災のための講演会を実施するとともに、学校防災アドバイザーの指導助言のもと、児童・生徒が主体的に防災・減災に取り組む活動を実施しました。令和6年度推進校の答志中学校区においては、地域の方々とともに、地域とつながりを深める防災教育を行いました。また、防災リーダー的役割を果たす教員を養成するため、震災遺構門脇小学校、震災遺構大川小学校訪問等、東日本大震災被災地を視察し、防災・減災教育を推進しました。

② 学校の適正規模・適正配置

令和8年4月の鳥羽東中学校と加茂中学校との学校統合再編に伴い、新たに開校を予定する中学校の設立に向け、さまざまな諸課題や必要な準備事項について検討・協議を行うため、「鳥羽市立新中学校設立準備会」を組織しました。

この設立準備会は、両校の校長・教頭をはじめ、教職員の代表、PTAの代表、校区内の学校運営協議会の代表など、計15名で構成し、具体的かつ実効性のある協議を進めるため、「総務部会」、「通学安全部会」、「学校運営部会」の3つの専門部会に分かれて、必要な項目ごとに検討・協議を進めました。

総務部会では、新しい中学校の象徴となる名称を決定するため、市内外から広く名称案を募集し、延べ162件・79種類あった応募の中から、生徒の意見も積極的に取り入れながら選考を行い、新中学校名を「鳥羽中央中学校」とすることに決定しました。通学安全部会では、統合によって通学区域が広がることを踏まえ、生徒が安全に通学できるよう、通学路の安全確保に向けた協議等を行いました。学校運営部会では、新中学校の教育目標の策定や、校内の校務分掌の在り方、新たに導入する体操服等のデザインや仕様について検討を行い、円滑な学校運営と学校生活の基盤づくりを進めました。

また、これらの協議内容や進捗状況については、「新中学校設立準備会だより」を随時発行して情報発信に努めました。

③ 学校施設の長寿命化の推進

鳥羽東中学校大規模改修事業

令和6年度決算額	183,663千円	前年度決算額	164,934千円
----------	-----------	--------	-----------

「鳥羽市教育施設等長寿命化計画」に基づきながら、令和8年4月の新中学校の設立を見据え、学校運営の拠点となる現「鳥羽東中学校」校舎の大規模改修工事を令和5年度に引き続き実施しました。

令和6年度は、校舎2階部分の内装改修や照明のLED化のほか、受水槽の更新など給排水設備の改修や、図書室の大規模改修を行い、校舎の長寿命化及び安全・安心な教育環境の整備に努めました。

④ 学校、幼稚園施設の機能向上

小学校管理業務

令和6年度決算額	80,677千円	前年度決算額	92,318千円
----------	----------	--------	----------

中学校管理業務

令和6年度決算額	77,437千円	前年度決算額	63,655千円
----------	----------	--------	----------

鳥羽東中学校大規模改修事業

令和6年度決算額	183,663千円	前年度決算額	164,934千円
----------	-----------	--------	-----------

幼稚園管理業務

令和6年度決算額	39,343千円	前年度決算額	32,736千円
----------	----------	--------	----------

小学校管理では、「加茂小学校校長室空調設備改修工事」など、環境の向上を目的とした施設整備のほか、「菅島小学校旧教員住宅用地法面整備工事」など、学校用地の管理に係る工事等を実施しました。

中学校管理では、危険性や緊急性を考慮しながら、「答志中学校防球ネット改修工事」などの改修工事を実施しました、また、令和5年度から着手した「鳥羽東中学校大規模改修事業」を継続して実施し、鳥羽東中学校校舎の大規模改修を進めました。

幼稚園管理では、規模の大きい工事等には着手しておりませんが、雨漏り等に対応する修繕工事などを行いました。

⑤ ICT の基盤整備と利活用の促進

小学校 ICT 教育推進事業	令和 6 年度決算額	4, 288 千円	前年度決算額	4, 156 千円
----------------	------------	-----------	--------	-----------

中学校 ICT 教育推進事業	令和 6 年度決算額	2, 679 千円	前年度決算額	2, 438 千円
----------------	------------	-----------	--------	-----------

GIGA スクール構想に基づく児童・生徒 1 人 1 台端末の整備に伴い、通信ネットワーク環境や端末管理に係る各種設定業務、ライセンス契約等を実施し、ICT を活用するための教育環境の整備を進めました。

また、令和 5 年度から運用を開始した統合型校務支援システムを引き続き運用し、校務の ICT 化や教職員の業務効率化を図りました。

⑥ 学校における働き方改革の推進

「鳥羽市立学校における教育職員の在校等時間の上限等に関する規則」および「鳥羽市立小中学校における教育職員の在校等時間の上限等に関する方針」に基づき、教職員の業務負担の軽減を図りました。限られた勤務時間の中で、授業改善や子どもたちと向き合う時間の確保に努めることで、教育の質の向上を目指しています。

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和 6 年度 (実績値)	令和 7 年度 (目標値)
地震や津波など災害時に自身がとるべき行動や避難場所ができる児童・生徒の割合	-	100%	100%
市内小中学校数	小学校 8 校 中学校 5 校	小学校 7 校 中学校 4 校	小学校 7 校 中学校 2 校
長寿命化に向けた施設改修の実施施設数	-	小学校 0 校 中学校 1 校	小学校 1 校 中学校 1 校
小中学校、幼稚園における児童・生徒・園児用トイレの洋式化率	52%	57%	65%
校務支援システム導入校数	-	小学校 7 校 中学校 4 校	小学校 7 校 中学校 2 校

【自己評価と今後の取組】

- 令和8年4月の新中学校設立に向け、準備会を立ち上げて新中学校の名称や校章デザインの募集をはじめとした必要な協議をスタートさせました。引き続き、開校に向けては校歌の制作や学校運営計画、通学路の安全確保など、準備会を中心に協議を進めていきます。
- 校務のICT化による教職員の負担軽減や業務効率化を図り、情報管理の一元化によるセキュリティ向上のため、令和5年度から校務支援システムを運用しています。機能の見直し等を検討しながら、より効果的なシステムとなるよう活用を進めます。
- 学校における働き方改革の推進では、ICT教育の推進、スクールサポートスタッフの活用、部活動ガイドラインの遵守等、多角的な働き方改革に取り組んだ結果、令和6年度は時間外勤務時間数が小学校で年間平均0.9時間、中学校で2.7時間減少しました。今後も、さらにICT教育環境の整備、効果的な人的配置、教職員の意識改革を推進し、総勤務時間縮減に取り組んでいきます。

【委員からの意見等】

＜委員A＞

- 安全・安心・快適な教育環境の整備について着実に進められていることが分かる。市財政との調整が必要なので教育委員会単独の判断で即時実現をすることができないことは理解できるが、引き続き財務当局や議会との調整を進めていただくことを望む。なお、成果目標で挙げた「小中学校、幼稚園における児童・生徒・園児用のトイレの洋式化率」が目標に未達なので実現に向けて努力いただきたい。

＜委員B＞

- 「防災・減災」教育の推進のため、「鳥羽市防災・減災プラン集 明日へのつばさ」を各学校が取り組んでいることや防災、減災のための講演会を開催し、児童、生徒の主体性を育もうとしたことは、適切な政策であった。また、昨年度に続き、教員を震災遺構門脇小、大川小等、東日本大震災被災地の視察に派遣し、各学校にフィードバックできたことは、活用のマンネリ・硬直化を防ぐために意義のあることであった。

【施策5】生涯学習やスポーツの推進

(1) 社会教育施設の充実と活用

【主な取組と成果】

① 鳥羽市立図書館の充実

図書館運営事業	令和6年度決算額 41,753千円	前年度決算額 38,069千円
---------	----------------------	--------------------

第3次子ども読書活動推進計画に基づき、引き続き小・中学校へのブックトーク、「赤ちゃん絵本の会」をはじめ、新たな取組として、開館35周年記念行事「読書手帳・しおりを作ろう」を2回開催し、読書の際必要な自分だけのしおりや、読書の履歴を記録できる手帳を作成しました。

維持管理においては、鳥羽市立図書館前松伐採等業務委託により、倒木の可能性のある松の伐採等を行うことで、安全・安心に利用できる環境の提供を行いました。

図書館前駐車場白線引き直し作業、図書館前草刈作業を職員で行い、経費削減に努めるとともに、市民が利用しやすくなる環境の整備に努めました。

備品等については、本、FAXのほか、ふるさと創生基金により、テレビ、DVDプレーヤー購入を行い、備品の充実に努めました。

○ 図書館行事一覧表

行事名	開催月・回数	参加者数(延人数)
絵本とかみしばいの会	毎月1回	103
赤ちゃん絵本の会	毎月第4金曜日	43
おはなし会	毎月第1土曜日	76
ブックトーク	毎月第1土曜日	60
大人のためのおはなし会	2月(1回)	23
ストーリーテリング講習会	5~6月(3回)	42
春・夏・冬休みおはなし会	4.8.1月(3回)	33
手づくり絵本講習会	7月(2回)	5
夏休み工作教室	8月(1回)	9
(開館35周年) 読書手帳・しおりをつくろう	5.8月(2回)	14
絵本と子育て講演会	2月(1回)	17
世界KAMISHIBAIの日	12月(1回)	10
ストーリーテリング勉強会	毎月第3火曜日	17(会員)

読書会	毎月第2火曜日	5(会員)
本のリサイクルフェア	11~12月	希望者 311人 2,487冊
新春お年玉企画(雑誌付録プレゼント)	応募期間 1~2月	応募総数 270件

○ 展示会・作品展

展示名	期間
こどもの読書週間	4月20日~5月12日
水道週間 PR展示	6月1日~6月7日
寄贈能面展	6月8日~6月21日
ミニ展 志摩の考古学者の研究の萌芽	6月25日~7月8日
鳥羽の海女小屋	7月8日~7月13日
原爆と人間展・鳥羽に見る戦争展	7月20日~9月1日
夏休み!読書をしよう!!	7月20日~9月1日
アルツハイマー月間作品展	9月4日~10月1日
水道100周年PR展示	10月2日~10月8日
読書週間展示	10月13日~11月4日
前納満写真展	12月12日~1月14日
市内小中学校書き初め作品展	1月16日~1月24日
多文化共生展	1月27日~1月31日
鳥羽うみアートプロジェクト 「こどもたちがいる、この世界は。」	2月5日~3月31日

② 文化財の展示収蔵施設の整備・活用

文化財保存推進事業	令和6年度決算額	9,491千円	前年度決算額	14,920千円
-----------	----------	---------	--------	----------

文化財収蔵展示施設運営管理費	令和6年度決算額	3,790千円	前年度決算額	3,781千円
----------------	----------	---------	--------	---------

国登録有形文化財の旧鳥羽小学校校舎については、外壁の改修工事を部分的に進めていますが、令和6年度は建物中央部の外縁部の外壁改修工事を実施しました。

市内の文化財保存事業としては、市内各所の文化財案内板の修繕工事を実施したほか、鳥羽城跡内の除草作業、伊良子清白の家の板塀の解体・補強・設置工事を行いました。

その他、祭礼行事の撮影を行い、市YouTubeチャンネルで3件公開を行いました。

「鳥羽大庄屋かどや」について、かどや保存会へ管理を委託し維持管理を行いました。

保存会では様々な文化教室やミニコンサートを開催したり、写真や書画などのアート作品展を行うなど身近にアートに触れる機会を創出しました。

③ 公民館やコミュニティアリーナの活用

公民館維持管理事業	令和6年度決算額 17,147千円	前年度決算額 27,892千円
公民館活動推進事業	令和6年度決算額 464千円	前年度決算額 464千円
コミュニティアリーナ 維持管理事業	令和6年度決算額 3,172千円	前年度決算額 4,117千円

現在、設置している市民文化系施設（集会施設）は、公民館分館20施設とコミュニティアリーナ4施設があります。

公民館は、施設の維持管理を行う上での必要性や緊急性、地域からの要望をふまえた上で、軒天井修繕や浄化槽プロアー取替など12件の修繕を行いました。

また、石鏡分館で敷地舗装改修工事、千賀分館で屋上防水工事、坂手分館の玄関へ手すり付きスロープの設置、五丁目分館のエアコン買い替えなどを行い、施設の利便性向上に努めました。

また、各地区の公民館活動の推進を図るため、各分館主事と連携して公民館主事会議を開催するほか、地域のニーズにあった活動の推進に努めました。

地域におけるスポーツ・文化活動の拠点として、各コミュニティアリーナの維持管理を行いました。答志コミュニティアリーナの管理運営については指定管理者に委託し、逐次情報連携をしながら施設管理を行いました。

また利用者の安全とサービスの向上のため、菅島コミュニティアリーナ小便器取替工事他4件の施設修繕を行いました。

なお、公民館維持管理事業の決算額は令和5年度の工事請負費において河内分館トイレ等改修工事の工事費が大きかったことが要因です。

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和6年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
鳥羽市立図書館の来館者数	75,704人	65,672人	78,000人

【自己評価と今後の取組】

- 図書館では、来館者数が65,672人（昨年度比3,456人増）となりました。今後とも引き続き新たな行事や資料の充実を行うことにより、来館者数の増加に努めます。
- 職員が作業を行うことにより、経費をかけることなく図書館周辺の環境の整備が進みました。今後とも、できる限り経費削減しつつ、環境の整備、改善に努めます。
- 文化財は旧鳥羽小学校を中心に市内の指定文化財等の保存事業を実施しました。今後も引き

- 続き、旧鳥羽小学校の改修やその他文化財の維持管理、調査等を行います。
- ・地域の交流の場として、公民館やコミュニティアリーナの維持管理を行います。

【委員からの意見等】

＜委員A＞

- ・社会教育施設充実に向けた取組は着実に進められていると評価することができる。成果指標である市立図書館の来館者数もコロナ禍の落ち込みからようやく回復しつつある模様である。引き続き充実に向けた活動を展開することを期待する。

＜委員B＞

- ・職員作業で図書館周辺の環境の整備を進めたことや報告書に「図書館行事一覧表」「展示会・作品展」を明記したことは、具体的な活動の見える化につながったり、来館者が約3,500人増えたりしたことは、開館35周年記念年であることも理由の一つであろうが、活字離れが進む昨今において評価できる。

(2) 感性を育むアートに親しむ創作機会や環境の創出 · · · · ·

【主な取組と成果】

① アートに触れ合う

生涯学習推進事業	令和6年度決算額	354千円	前年度決算額	239千円
----------	----------	-------	--------	-------

市民文化祭2日目にアート体験として、自分たちで考えたデザインの消しゴムはんこ及びオリジナルトートバッグを作成するワークショップを開催しました。また、生涯学習講座において、アートに関する講座を開催し、アートに触れる機会を創出しました。

- 参加人数：156人

② 市民との交流の創出

生涯学習推進事業	令和6年度決算額	354千円	前年度決算額	239千円
----------	----------	-------	--------	-------

「20歳（ハタチ）の会」の開催では、20歳の9人の実行委員を中心に内容を企画・検討し、自主運営により祝典を進行していただきました。

- 20歳（ハタチ）の会参加人数：112人

③ 展示場・アトリエの整備

博物館運営事業	令和6年度決算額	34,590千円	前年度決算額	12,613千円
---------	----------	----------	--------	----------

鳥羽市立海の博物館では、特別展2回、ギャラリー展4回、企画展1回、建築模型展1回を開催したほか、磯の生きもの観察など海の博物館ならではの海にまつわる体験学習等を行いました。年間入館者数は前年度と比較すると、修学旅行をはじめとした団体旅行受入数は減少したものの、国内外の個人客が増加したこともあり、27,195人（前年度比644人増）となりました。

海女ガイド事業では、市内小学5年生が海女検定で博物館へ訪れる際に、海女さん本人から直接海女漁や海の環境について話を聞く機会を創出することで海女に関する学習を深めることができました。そのほか県外の小学生や外国語や美術を専攻する大学生にも海女と出会う機会を創出しました。

管内設備では、クレジット・バーコード決済を導入し、来館者の利便性向上や個人消費の増加を図りました。

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和 6 年度 (実績値)	令和 7 年度 (目標値)
アート関係のワークショップ参加者数	0 人	156 人	200 人

【自己評価と今後の取組】

市民文化祭の同会場において市内外でアーティストとして活躍する講師をお招きし、親子をターゲットとした消しゴムはんこ及びオリジナルトートバッグを作成するワークショップ（3部制）を開催しました。また、生涯学習講座において、アートに関する3つの講座を企画し、親子からシニア層まで幅広い世代が参加可能な講座を開催しました。引き続き、子どもたちや市民の方々に、モノづくりや文化芸術作品に接する機会を提供していきます。

海の博物館については、修学旅行等の団体受入数が減少する中で、入館者数は前年度よりやや増加しており、コロナ禍からの順調な回復基調にあると考えており、さらなる集客増に向か、情報発信に努めます。

なお、令和 6 年度決算額と前年度の差異は、令和 6 年度に施設関係で動力消防ポンプ設置及び給水引込管工事を施工したことが要因です。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

- ・ワークショップの開催など、必要に応じた適切な活動が実施されている。市民に対する広報や啓発を通じて、当該分野への関心が高まるよう援助を継続いただきたい。

＜委員 B＞

- ・昨年度のワークショップでは、84人の大幅減の50人の参加であった。しかしそれが参加者156人と3倍増となった理由として、昨年度の大幅減少の原因をしっかり分析しての自己評価があつてこそと思われる。今後も、このような姿勢で「子どもたちや市民の方々に、モノづくりや文化芸術作品に接する機会の提供」につなげてもらいたい。

(3) 人財や文化財を活用した生涯学習

【主な取組と成果】

① 生涯学習活動の充実

現在、生涯学習講座は、運動施設指定管理者の委託事業として、書道教室やヨガ教室など 21 講座を開講し、延べ 2,975 人の参加がありました。

② 地域人材の発掘・育成

社会教育関係団体育成事業

	令和6年度決算額	前年度決算額	
	1,573 千円	2,034 千円	

社会教育活動の充実を図るため、関係団体の活動に対して補助金を交付し、青少年の健全育成や歴史・文化活動を支援しました。

助成団体	活動内容
市 PTA 連合会	夏季研修会及び実践交流会を開催し、単位 PTA 相互の連携を図り、学校・家庭・社会における幼児・児童・生徒の健全育成に努めました。
市青少年育成市民会議	夏休みの親子体験活動(ブルーベリー収穫&ピザ作り)、凧作り教室のほか、各地区の活動を通じ、青少年の健全育成に努めました。また、情報発信として機関紙「月桂樹」を発行し、活動の周知に取り組みました。
市文化協会	昨年に引き続き「市民文化祭」を鳥羽市民体育館にて開催しました。また新たに体育館に音響反射板を導入し、サブアリーナでの音楽芸能の発表の場に活用しました。さらにメインアリーナでは美術作品の展示を行うことで、本市における多様な文化活動を奨励する機会としました。
鳥羽郷土史会	鳥羽の歴史文化の発展向上を目指すため、例会や会報の発行を行いました。また、郷土史考鳥羽第壱拾四集を発刊しました。
鳥羽恐竜研究振興会	鳥羽竜の化石発見現場での修学旅行対応、春と秋の親子化石採集会を開催しました。また、青峰山参道での化石発掘作業や新種発見のための判定会など、学術的研究調査を進めました。

③ 文化財の保存と活用の推進

国登録有形文化財の旧鳥羽小学校校舎については、外壁の改修工事を部分的に進めていますが、令和6年度は建物中央部の外縁部の外壁改修工事を実施しました。

市内の文化財保存事業としては、市内各所の文化財案内板の修繕工事を実施したほか、鳥羽城跡内の除草作業、伊良子清白の家の板塀の解体・補強・設置工事を行いました。

④ 市の歴史文化遺産の語り部の育成

人材育成を目的とした地球塾のほか、子どもたちの郷土愛醸成のため、とばっこ検定を市内の小学4～6年生を対象に実施しました。4年生は御木本幸吉と真珠、5年生は海女、6年生は九鬼嘉隆と鳥羽城をテーマに学習し、全員が合格しました。

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和6年度 (実績値)	令和7年度 (目標値)
生涯学習講座から新たに立ち上がる自主活動の数	0件	0件	5件
指定文化財の数	72件	74件	75件

【自己評価と今後の取組】

生涯学習講座については、指標の達成状況としては、生涯学習講座から自主活動へつながった実績は確認できていません。ただし、生涯学習講座については、運動施設の指定管理業務をきっかけに生涯学習講座とスポーツ講座等を企画・開催しており、市民のニーズに応えて年々教室数及び参加者は増加傾向にあることから、引き続き生涯学習講座の充実を図ります。

また、とばっこ検定の学習を行うことにより、鳥羽小学校の児童による観光客へのガイドを行う活動や島っこガイドの実践などにも生かされており、郷土愛の育成につながるものとして引き続き取り組んでいきたいと考えています。

【委員からの意見等】

＜委員A＞

- ・地域人材の発掘や育成への支援事業は多様な主体への補助が実現されており、概ね適正に実施されている。成果指標をみる限り、生涯学習講座をきっかけに市民が自主講座を立ち上げることを期待しているようであるが、想定する結果は得られていないようである。市民への声かけや援助など、見直しを図ることも視野に入れて検討する必要があると思われる。

＜委員B＞

- ・旧鳥羽小学校校舎等、保存している文化財の有効活用を期待したい。

(4) 生きがいと活力を育む生涯スポーツの推進

【主な取組と成果】

① スポーツ活動に取り組める環境づくり

生涯スポーツ振興事業	令和6年度決算額	5,772千円	前年度決算額	5,910千円
------------	----------	---------	--------	---------

学校体育施設開放事業	令和6年度決算額	1,184千円	前年度決算額	1,184千円
------------	----------	---------	--------	---------

学校体育振興事業	令和6年度決算額	3,067千円	前年度決算額	3,312千円
----------	----------	---------	--------	---------

市民が地域でスポーツ活動に親しみ、健康・体力の増進を図る機会を創出するため、学校運営に支障のない範囲で学校体育施設を開放しました。

小中学校体育団体の運営費や各種大会に出場する選手の派遣費を補助することにより、小中学校のスポーツ活動の活性化に寄与しました。

項目	回数（回）	参加者延べ人数（人）
学校体育施設開放校数（校）	8校	20,926人

② 地域スポーツと学校部活動の連携

地域移行支援事業	令和6年度決算額	14千円	前年度決算額	335千円
----------	----------	------	--------	-------

令和4年度から鳥羽市部活動検討委員会を設置し、休日における部活動の地域移行について議論を開始し、令和5年度には、地域クラブ活動における方針を定めた「中学生世代の新たな地域クラブ活動準備・推進計画」を策定しています。令和6年度は計画に基づき、地域クラブ活動の準備を進める関係団体及び学校部活動顧問を対象に合同ミーティングを開催しました。

今後は、当該計画をもとに、部活動顧問や地域団体等と調整を進めながら、地域クラブ活動を推進していきます。

③ 運動と食事・栄養への取組み

運動施設の指定管理業務において、各種スポーツ教室を開催しており、スポーツと健康を掛け合わせた血圧を下げるウォーキング講座を開催するなど体力向上と健康増進を図りました。

④ 表彰制度の拡充

市民体育大会事業	令和6年度決算額	162千円	前年度決算額	169千円
----------	----------	-------	--------	-------

市民体育大会として12種目の大会を開催しました。競技数の実績としては、前年度と同数であったものの参加者数は増加しました。

また、全国・東海大会等で優秀な成績を収めた選手や、スポーツ振興に功績のあった方に対し、表彰を行いました。その功績を称え、表彰式を開催したほか広報とばや鳥羽市ホームページにて紹介しました。

項目	選手	団体
スポーツ優秀選手・団体表彰	18人	1チーム

⑤ ジュニアスポーツ応援事業

生涯スポーツ振興事業	令和6年度決算額	5,772千円	前年度決算額	5,910千円
------------	----------	---------	--------	---------

フェンシング競技とレスリング競技に対して、ジュニアへの支援を継続しています。

各種大会や合同練習会などにも参加するほか、活躍する選手を招いての講習会を開催することで、技術や競技力の向上を図ることができました。

これからも、一流アスリートが誕生するよう、バックアップできる環境づくりに努めていきます。

⑥ 三重とこわか国体の開催とレガシーの継承

鳥羽市出身の山田優選手が成し遂げた東京オリンピックでの金メダル獲得を契機に、フェンシング競技の普及・発展と次世代フェンサーの育成を目的としてフェンシングの全国大会を開催しました（参加選手数95人や監督コーチ53人など148名参加）。

令和6年度は、フェンシング大会及びチャンバラフェンシングの実施に加え、昨年度に引き続きジョブ本の回収を行い、スポーツとリサイクルへの取組を同時に行うとともに、オリンピック出場選手との交流対戦を行うなど世界を感じる機会となりました。

○ 啓発イベントの開催・関係機関等の連携イベント

名 称	参加人数	実施場所
鳥羽フェンシング大会	95人	鳥羽市民体育館
チャンバラフェンシング	27人	鳥羽市民体育館サブアリーナ

○ その他

名 称	実施場所	内 容
合宿の受け入れ	市民体育館	競技力の向上を目的に、中高生を対象とした強化合宿の受け入れ

⑦ スポーツ用具などの計画的な整備

運動施設管理運営事業	令和6年度決算額	49,827千円	前年度決算額	40,916千円
------------	----------	----------	--------	----------

運動施設については、引き続き、三幸（株）を指定管理者とし、民間のノウハウやアイデアを活かしながら、市民のスポーツや文化活動等に親しむ場の提供や、利用者の利便性向上、施設の安心・安全な管理に努めました。

また、鳥羽市民体育館サブアリーナにおける音響環境の改善を目的として、移動式音響反射板を購入しました。さらに、運動施設の設備充実を図るため、レスリングマットやメインアリーナ用カーテン（西側設置）を購入しました。

⑧ 市民がつながる機会づくり

運動施設の指定管理業務において、スポーツ教室や生涯学習講座、展示や歴史ハイキングといった文化事業を開催することにより、市民をはじめとして市外から多くの参加がありました。スポーツや芸術文化、健康増進、多世代間の交流の場づくりに努めました。

【成果指標】

成果指標名	令和元年度 (現状値)	令和 6 年度 (実績値)	令和 7 年度 (目標値)
運動施設利用者数 (市内在住者)	31,196 人	48,717 人	52,000 人
運動施設利用者数 (市外からの利用)	1,717 人	7,410 人	3,000 人
総合型地域スポーツクラブ数	1 団体	2 团体	3 团体

【自己評価と今後の取組】

市民体育館で開催される生涯学習講座やスポーツ講座の教室数も増加し、運動施設利用者数（市内在住者）も 48,717 人（昨年度比 9,054 人増）と増加しています。スポーツを身近に感じてもらえる機会を創出することができ、スポーツを楽しむ人が増加しているように感じています。今後も、市民の皆様にスポーツを身近に感じていただき、健康増進に努めてまいります。

また、中学校の休日部活動の地域展開について、令和 6 年度は計画に基づき、地域クラブの準備を進める関係団体及び学校部活動顧問を対象に合同ミーティングを開催し、競技ごとに議論していただきました。今後も引き続き、クラブ活動がスムーズに進められるよう部活動顧問や地域団体等と調整をしてまいります。

【委員からの意見等】

<委員 A >

- ・生涯スポーツの振興については大きく成果を挙げていると評価することができる。特に、市外からの運動施設の利用に活発さを見受けることができる。まちづくり政策との連携を視野に入れ、市のスポーツの振興を展開・充実していくことを期待する。

<委員 B >

- ・市の独自性確立のための、フェンシングやレスリング競技におけるジュニアへの支援や講習会は有意義である。市内の運動施設利用者数は大幅の増加となった、今後も指定管理者とともに、成果目標値に近づけるべく、引き続き鳥羽市として連携、協力を期待したい。

【その他の施策】

（1）寝屋子の島留学事業

【主な取組と成果】

鳥羽市立答志小学校・答志中学校への入学または転学を希望する児童生徒の受け入れを行い、答志地区の自然環境や歴史・文化等を通じた学びを推進し、教育効果の向上と地域の活性化を図りました。

○ これまでの受入実績

- | | |
|---------|--|
| 平成 30 年 | 家族留学 1 名 (小学 1 年生) |
| 令和元年 | 家族留学 1 名 (継続)
島親留学 2 名 (小学 6 年生) |
| 令和 2 年 | 家族留学 3 名 (小学 4 年生、中学 1 年生、中学 3 年生)
島親留学 1 名 (中学 2 年生) |
| 令和 3 年 | 孫留学 1 名 (中学 1 年生 : 7 月から) |
| 令和 4 年 | 孫留学 1 名 (中学 2 年生) |
| 令和 5 年 | 孫留学 1 名 (中学 3 年生)
家族留学 3 名 (小学 2 年生・小学 5 年生・中学 2 年生) |
| 令和 6 年 | 家族留学 2 名 (小学 1 年生・小学 4 年生) |

【自己評価と今後の取組】

島外からの児童・生徒との交流を通して、地元の子どもたちの社会性や多様性への理解が深まりました。今後も、離島留学生を受け入れるための島内見学ツアー等を実施し、島外住民との交流の実施・繋がりの構築の推進に努めてまいります。

【委員からの意見等】

<委員 A >

- ・寝屋子の島留学事業は継続的な事業として一定のニーズを確認することができる。引き続いだり、留学児童・生徒、地元児童・生徒、地域の三者ともに効果が得られる事業が展開されることを期待する。

<委員 B >

- ・今後も答志小、中学校への転学を希望する児童生徒がある限り受け入れ、相互の教育効果の向上と教育の振興充実、地域活性化が図られることを期待する。

【報告書全体を通しての意見】

＜委員A＞

令和6年度は、教育委員会が所管する諸事業について概ね適正に実施されていることが確認できた。

令和7年度にあった市体制の変更にも教育委員会として対応し、引き続き適正な業務遂行に努めていただきたい。

＜委員B＞

- ・この「鳥羽市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書」は、一昨年度、作成は令和6年となってからであった。昨年度は約2か月早くなり12月、今年度9月とさらに3カ月早くなかったことは、来年度に向けて評価できると言えよう。しかも、冒頭でも書かせもらったが、書式や内容も見やすく、より分かりやすいものとなっていた。昨年度の報告書の末尾で、「結果的に、『報告書作成』が目標となっていないか」と厳しい評価をさせてもらったが、今回はその点を踏まえて改善されている。そして、形だけではなく、内容的にも令和6年度の教育委員会による活動は、限られた予算の中ではあるものの、その役目を果たしたものと感じている。
- ・来る7年度は「多様な社会を生き抜く、知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成」の具現化に向けて、最終年度となる。より細部を精査し、子どもを中心に据えて、関係機関がさらに深く連携し、次年度に繋がることを強く望むものである。